

2021年度特定非営利活動法人ラヂオきしわだ定時社員総会 議事録

- 1 日時 令和4年5月29日(日) 13時~14時
- 2 場所 当法人事務所(岸和田市野田町1-6-19 栄光ビル2階)
- 3 出席者数 社員12名中11名(書面決議書出席3名を含む)
出席者 梶野昭太郎 片山陽子 木村和子 北野忠夫
長谷川秀美 八木恵 八木雄一郎 山田剛
書面決議出席者 奥利隆 片山政徳 河野晃
欠席者 山本明宏

4 議事

- 一号議案 議事録署名人の選出
- 二号議案 2021年度活動報告
- 三号議案 2021年度決算報告及び監査報告
- 四号議案 2022年度事業計画
- 五号議案 2022年度予算計画
- 六号議案 役員人事の件

5 議事の経過報告及び議決結果

議事に先立ち、梶野理事長が本社員総会に委任状出席を含め11名の出席を得ているので、有効に成立している旨説明。次いで定款第25条により梶野理事長を議長に選出。以後梶野議長のもと議事が進行された。

一号議案 議事録署名人の選出

定款第29条2号の定めに従い、議事録署名人に山田剛と片山陽子の2名を選出。

二号議案 2021年度活動報告

梶野理事長より配布資料に基づき、2021年度を通して新型コロナウイルス対策を徹底させ、入口での手消毒、検温、氏名・連絡先の登録、スタジオ内にアクリル板設置、マイクカバーの使用毎の取り換え、スタジオ内の人数制限、ギャラリーの閉鎖などの対策を実施しながら放送したこと、緊急事態宣言期間はラヂオきしわだの情報番組「おはようラヂオきしわだ」と「Happy Morning Kishiwada」のみ生放送とし、他の番組は収録済の番組、あるいは再放送、「音楽の世界」を流し、スタジオは使用しなかったと報告。幸いな事にラヂオきしわだのスタジオ、事務所からは一人の感染者も出さず、また一年365日、一日24時間事故もなく放送を行ったことも報告した。

特別番組編成関係では、2021年度は5月10日に開局10周年を迎えたが、開局10周年の特別番組は「緊急事態宣言」下であり、「おはようラヂオきしわだ」の時間枠+1時間のみ

での放送とし、祭礼関係の特別番組は9月祭礼の岸城神社の神事の放送のみの放送とし、市議会関係の放送は定例本会議の様態を引き続き原則翌日深夜に放送を続けていることも報告した。

また10月からテレビ岸和田の情報誌「VISION」(25,000部)にラヂオきしわだの番組表の掲載を始め、ここからラヂオきしわだの番組への導入をはかり、今後も継続していくことを報告した。

イベント事業関係では5月10日・11日に予定していた「ラヂオきしわだ開局10周年記念・ラヂオきしわだまつり」を新型コロナウイルスの感染は少し鎮静化した10月31日・31日に岸和田ベイサイドモールで催し、番組出演者によるライブコンサートや番組公開収録などを行ったこと、そのほか、「夏休み子どもラヂオ体験」など同じく岸和田ベイサイドモールでのイベントの企画、運営、コーディネートを請け負ったことを報告、一方3か月に一度開催を予定していた「ラヂオきしわだ寄席」は一年を通して中止にしたことも報告した。

以上の説明、報告に対して出席の社員全員の承認を得た。

三号議案 2021年度決算報告及び監査報告

2021年度も最終的に単期で黒字(647千円)を計上することができたことを報告し、配布資料(活動計算書、財産目録、貸借対照表)に基づき片山副理事長が以下のようにまず収益から報告をした。2021年度はほぼ一年を通して、「緊急事態宣言」か「蔓延防止等特別措置」が出ている一年で、「緊急事態宣言」下では生放送の「おはようきしわだ」「Happy Morning

Kishiwada」以外はスタジオは使用をしないという措置で、再放送、「音楽の世界」などで番組の編成をし、その結果、事業収益、寄付金の減少を懸念したがしたが、そんなに減収になることはなく、逆にラヂオ事業収益では下期からは岸村商店、第一生命から年間365日の広告が入り増収に寄与、またこれも下期からだが、テレビ岸和田の情報誌「VISION」に番組表の広告を掲載し、その下に協賛する団体・企業など広告を載せることによって協賛団体などから広告費を頂くことによりこれも増収に寄与、その結果ここ2・3年の比べてもラヂオ事業収益は多くなっている事(4,369千円)を説明した。

受け取り寄附金でも来局者が減ることによって影響が懸念されたが、寄附者の数も金額も「減」にはならず(4,135千円)、寄附者数も認定NPOの条件である「100人以上」をクリアしていることを説明した。

イベント事業については10月30日・31日の「ラヂオきしわだ開局10周年記念・ラヂオきしわだまつり」をはじめとして観客料、イベント参加料をとっていないイベントの開催だったが、上記の活動報告でも説明した岸和田ベイサイドモールでのイベントの企画・運営・コーディネート料などの受託からの収益であることを説明した。

雑収益については2021年度は同録CDの売上、自販機の販売手数料で、これは来局数が減っているのである程度の「減」になっていることを説明した。

これらをまとめて2021年度の経常収益計は9,265,427円であることを説明した。

費用については2021年度も人件費については事業費でも管理費でも発生がないことを説明し、事業費の費用関係で例年との差異は広告宣伝費で先に述べたように、「VISION」誌での番組表の広告が10月からはじまり、掲載費及び制作費で下期で39万円の費用の発生、業務委託費で㈱DBSに5年に一度の送信設備の保守調整及びエリアの電波の測定などで51万円の発生、㈱0724にホームページの情報の追加、メンテナンスで2021年度より月額3万円が発生していることを説明した。また2021年度は固定資産の取得はなく、減価償却費は前年までに取得した資産の償却分であることを説明した。イベント事業関係の費用で大きい業務委託費は「ラヂオきしわだ開局10周年記念・ラヂオきしわだまつり」にかかった費用で音響・収録関係及び、その他の受託イベントに関する企画運営費の支払いによることを説明する。

管理費の経費関係は毎年度100万円位で推移しているが、2021年度も同様であることを説明し、コロナ関係では使い捨てマイクカバーで6万円余り、除菌シートや消毒用アルコール、ペーパータオルなどで2万円位位の支出があった事を付加えた。

ラジオ事業及びイベント事業の費用合計は7,571,840円にり、管理費の経費で1,040,992円となり合計8,612,832円となったことをを説明、結果652,595円の黒字となったことを説明をした。

次に貸借対照表に移り、流動資産が500万円余りで、長期借入金の内、元気わくわく㈱に150万返済した結果であること、また下期に岸村商店、第一生命の一年分CM放送料の入金があったことをはじめ、一年分の前払いで頂いているところがいくつかあり、それらが前受金で計上されていることを説明する。また上記でも述べているが、2021年度は新たな固定資産の取得がなかったことを再度説明した。

最後に監事の奥利隆氏は書面決議参加だが、5月12日に預金などの残高、当法人が発行した領収書、支払い済みの請求書・領収書などの監査を受け、「適切に処理されている」との承認を得ていることを報告した。

以上の説明、報告に対して出席の社員全員の承認を得た。

四号議案 2022年度事業計画

梶野理事長より配布資料に基づき、2022年度の事業計画についての説明として、月曜日から金曜日、朝9時～11時までの2時間はラヂオきしわだ制作の情報番組「おはようラヂオきしわだ」を放送すること、2022年度もコロナウイルスの感染予防対策として、入口での手消毒、検温、氏名・連絡先の登録、不織布マスクの着用、スタジオ内にアクリル板設置、マイクカバーの使用毎の取り換えなど、コロナウイルスの感染予防対策を徹底することを述べ、以下のような具体的な計画をしている事の表明があった。

ラヂオきしわだの10年後の姿をイメージするため若い人達で会議を開催、討論頂き、提言提案を受ける。

番組制作では、九月祭礼・十祭礼が実施される場合は特別番組を実施する。例年通り、岸和田市議会本会議・臨時会の模様を収録し、翌日深夜に放送する。

聴取者の増加を図る手段として、来局者、その他の機会を捉えスマホのユーザーにラヂオきしわだサイマル画面に入る方法を知ってもらい、聴取の習慣化を促す。また昨年度から始めたテレビきしわだの情報誌「VISION」の読者にテレビ岸和田のケーブルからラヂオきしわだの番組が聴取できることを周知し、聴取者の増加をねらう。

イベントについてはラヂオきしわだ主催のイベント（ラヂオきしわだまつり）また他の団体との共催イベントを展開する。また昨年度は実施できなかった「ラヂきし寄席」を開催する。

などの施策と計画を説明し、2022年度の事業計画は社員全員承認をえた。

五号議案 2022年度予算計画

梶野理事長より、配布資料に基づき、2022年度の予算案の説明があった。収益では一年を通して毎日CMを放送するスポンサーを2社獲得することをめざす。また電波ではないが、テレビきしわだの「VISION」誌の番組表の協賛広告なども加え150万ほどの増収、あと寄附金、雑収入などでも増収見込み、トータルで11,000千円を見込んでいることを説明する。

費用については2022年度も人件費の発生はないが、アルバイト料として125万円を計上、増える要素としては「VISION」誌の広告費・制作費、イベント関係も含み業務委託費、パソコンの買い替え償却費の増などが見込まれ、2022年度は11,994千円で、差し引き6千円弱の黒字になる見込みであることを説明する。

以上の説明を受け、2022年度の予算計画は出席者全員の承認を得た。

六号議案 役員人事の件

梶野理事長より寺田篤史氏、森田恵氏の2名を新たに理事に選任したい旨の説明があり、出席者全員の承認を得た。

以上

この議事録が正確であることを証します。

令和4年5月29日

議 長 梶野 昭太郎

議事録署名人 山田 剛

議事録署名人 片山 陽子